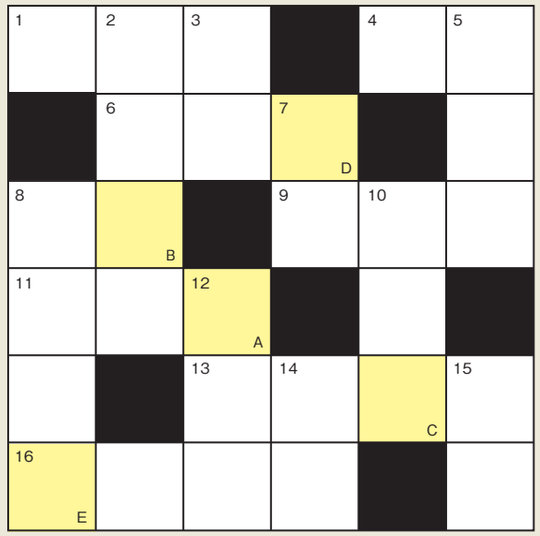
JPR 広報誌 りむ。
Rental・Information・Management
vol.17
September 2017

●パートナー企業様インタビュー

「株式会社ビッグ・エー 様」

ドライバーの負担を軽減するために
物流現場で高まるパレットへの期待

チャレンジ パズル BOX



【タテ】のヒント
2. 「少年よ大志を抱け」は○○○○博士の言葉
3. ○○オン、オム○○ス
5. お正月に遊びたいカードゲーム
7. イカやタコが吐く
8. 玄人はプロ、アマチュアは?
10. 絹を産出する虫
12. 屋外で楽しむ○○○風呂
14. 苦あれば○○あり
15. トンボの子ども

【ヨコ】のヒント
1. 旅先で変わると眠れない人も
4. アップダウンがある道
6. ご飯。カレー○○○
8. 英語で海
9. 敵⇔?
11. 陶芸で回すもの
13. 江戸時代の学校
16. 車の荷室、大型のカバン

JPR広報誌りむ。では、お客様のご意見を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。ぜひご意見・ご感想をお寄せください。
またパズル正解者の中から抽選で1名様にプレゼントをご用意しております。

JPR広報誌りむ。読者アンケート
アンケートは、Fax でもスマートフォン等でも受け付けています。

■質問項目に記入後、**Fax**で送信してください。

パズル回答欄	A	B	C	D	E

1. 興味がある記事やおもしろかった企画を教えてください。
   - A 表紙
   - B パートナー企業様インタビュー
   - C 読み物「雨の日には運転に要注意!!」
   - D JPR INFORMATION
   - E パズル BOX

2. 読みやすいと思いますか?
   はい ・ いいえ

3. 読みたい記事や得たい情報があれば教えてください。

4. もっと工夫が必要だと思う部分がありましたら教えてください。
   - A 文字を大きくして欲しい
   - B 写真を大きくして欲しい・増やして欲しい
   - C 内容が難しい
   - D その他、ご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。

〈プレゼント発送先〉プレゼントに応募される方は必ずご記入ください。

ふりがな			
お名前			
年齢	歳代	性別	男性 ・ 女性
プレゼント発送先	〒 -		
TEL			

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただきました個人情報は、プレゼント発送以外には使用いたしません。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

Fax送り先 03-6895-5241

JPR広報誌 りむ。
Rental・Information・Management
Vol.17 2017年9月発行

発行：JPR 日本パレットレンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
Tel. 03-6895-5215 Fax. 03-6895-5241
e-mail. pr@jpr.co.jp

スマホ、タブレットはこちら
Webアンケート用QRコード

ドライバーの負担を軽減するために 物流現場で高まるパレットへの期待

小室 健宏氏
株式会社ビッグ・エー
物流システム本部 本部長
1984年の入社時に配属を希望した物流部門で一筋に歩む。これまで延べ8カ所の物流センターの立ち上げに関わり、直近では今夏、八千代センターを立ち上げた。現場第一主義を心がけ、常により効率的な物流システムとは何かを考えている。

株式会社ビッグ・エー様は、独自のローコストオペレーションを駆使して東京、埼玉、千葉を中心に200店舗以上をチェーン展開。常に価格を安くする企業努力を続けつつも、品質面で安全・安心な商品を厳選して取り扱っている。現在、5カ所の物流拠点を持ち、JPRのレンタルパレットの共同回収店としても、高い回収率を維持している。物流システム本部本部長の小室健宏氏に、同社の店舗の特徴や物流現場の様子などを伺った。

日本で唯一のハードディスカウントチェーンストアの確立を目指す

株式会社ビッグ・エーは、生鮮食品・加工食品を中心としたハードディスカウントチェーンストアの運営を手がけている。1979年8月に設立され、同年11月に、埼玉県大宮市（現さいたま市）宮原に1号店をオープン。設立当時、本社と物流センターは埼玉県越谷市に置かれ、以降、北関東を中心に店舗を増やしていった。2003年に本社を現在の東京都板橋区に移転し、2006年には板橋物流センターが開設した。

「ハードディスカウントチェーンストア（HDS）」とは、一般的には「ドイツのハードディスカウントストア企業であるアルディが開設した、小型の店舗で高回転の加工食品を中心に品目を絞り込み、徹底したコスト削減により超安値で販売する小売形態」とされる。同社は、「日本初で唯一のHDSのチェーンストア確立」を合言葉に、日夜業務を続けている。

株式会社ビッグ・エー物流システム本部本部長の小室健宏氏は、同社の店舗について以下のように解説する。

「現在、関東に215店舗を展開しています。100坪前後の店舗がメインで、最近は45坪ほどの店もあります」

ワンストップショッピングで生活必需品が買えるというニーズにかなう店づくりをするため、小さめの店内を有効活用し、それぞれの地域のニーズに合わせた商品群に絞って取り扱っている。

例えば、調味料などもいろいろな容量のものを全て販売するのではなく、ある程度選別しているという。

「広い店舗だと端から端まで歩いて買い物するのも大変ですよね。『ショートタイムショッピング』をキーワードに、商品を見つけやすく、入店からレジ精算までの流れがスムーズになるように、買いやすい動線を考えて売り場を設計しています。特に高齢者のお客様に喜ばれています。当社はスーパーでもコンビニでもない独自の店舗形態を展開しているんですよ」

ショッピングカートからショッピングカートへのレジ精算方式も日本初となる同社の特徴だ。精算された商品はショッピングカートで受け取り、そのまま車や自転車まで運べるので、お客様にとっても、買い物時間の短縮になると好評だ。

ストアブランドの「緑茶」。ビッグ・エー独自の商品開発で高品質と低価格を両立している。

低価格を実現すると同時にオリジナルの開発商品にも注力

取り扱っている商品の価格の安さも、ビッグ・エーの特徴といえる。同社は「安さの秘密7カ条」として、「買い物袋を有料化」「生活必需品に絞る」「ケース陳列で手間をかけない」「支払いは現金のみ」「簡単な内装設備」「原則メーカー直送」「広告宣伝を控える」を挙げている。

これらに加えて、物流センターで大量仕入れをすることなどで、低価格を実現しているという。

「他社のスーパーでも売っている商品は、当社の店舗では2割ほど安くすることを目標にしています。最近、地域最安値の商品数500品目を達成しました。お客様に安いものを安心して買っていただけるように、地域最安値の商品は売り場のポップの色を変えて、ひと目でわかるようにしています」と小室氏は話す。

同社ではストアブランドである開発商品にも力を入れている。そのアイテム数は、現在、200ほどにのぼる。ストアブランドの食品は、国産の材料にこだわり、できるだけ添加物を使わないようにしているのが特徴だ。

また日用品も、植物由来原料を使用したもの、ゴミの量を減らす詰め替え用商品など、環境に配慮したアイテムを多く開発している。

お客様の声に応えるためチャレンジし続ける

ビッグ・エーでは面積が小さい店舗が多いだけに、従業員が各時間帯で2人しかいない店舗もあるという。この人数では、忙しい時間帯には、負担が大きくなることもある。

そこで、カッターも使わず誰でも簡単に開封でき、そのまま陳列ができるオリジナルの段ボール「SRP（シェルフレディパッケージ）」を採用。これにより、陳列にかける時間が大幅に短縮されたという。これも店舗のローコストオペレーションを実現するための様々な工夫の一つだ。

また、店舗によっては、実験的な試みを行っている場合もあると小室氏は語る。

「最近は、『デリベイク』という焼きたてパンを扱

うコーナーを設置した店舗があります。パンは常時大体12種類程度あって、1日で1000個売れることもあります。また、半数以上の店舗では焼き芋も導入しました。各店舗のお客様層に合わせながら、いろいろな商品にチャレンジしています」

現場の作業の効率性を高めるパレットへの期待は大きい

200以上ある店舗への商品配送を担うのが物流センターだ。現在は板橋のほか、春日部、所沢、戸田、八千代にセンターがある。

物流部門で働く同社の社員は5人。そのほか、各センターの現場の仕事は、3PL（サードパーティロジスティクス）の物流会社に業務委託しており、現場の作業は3PL企業のスタッフを中心に行っている。

多くの商品が入出荷する物流現場では、常に効率性の向上を要求される。同社でも少しでも早く、多くの商品を移動・陳列するために、様々な工夫をしている。

「店舗の狭いバックルームでも動かしやすい6輪台車を活用しています。当社では『品群別積み付け』と言っていますが、例えば菓子だけ乗せた台車、飲料だけ乗せた台車に分けて、同種の商品をまとめて店舗へ出荷しています」と小室氏は説明する。

現在、同社物流センターへの商品の6割ほどがパレットで入荷されるという。

「仕入れも在庫管理もパレット単位で計画するのが管理しやすい。特に連休前などの繁忙期は物流量が増えますので、いかに正確に計画するかがポイントになります。それに、ドライバーにとってもパレットだと納品作業が大幅に短縮できて、効率的です。手降ろしだと1時間以上かかる納品作業が、パレットだと15分くらいで終わりますから。当然、ドライバーもパレットの方が嬉しいのです。残念ながら、軽量な商品はパレット納品の比率があまり高くないのですが、今後、パレット納品率が高まれば、物流全体がさらに効率化されていくですね」と小室氏はパレットへの思いを語る。

ここ数年、ドライバーの人手不足が続き、荷待ち時間も含めた長時間労働が問題になっている。

国土交通省など関係各省庁からも、ドライバーの長時間労働を規制しようとする動きが出てきた。同社に限らず、入荷や配送時間の短縮化を実現するパレットへの期待は大きい。

パレット納品による物流全体の効率化が進んでいる。

小回りの効く6輪台車は、店舗の狭いバックルームでも動かしやすく、効率アップにつながる。

物流全般の改善についてJPRとともに考えていきたい

同社は、創業2年目の1980年からJPRと取引を始めている。1995年には、JPR11型レンタルパレット共同利用・回収推進会（P研）※の共同回収店に登録した。その経緯や効用を小室氏は以下のように述べる。

「当時からJPRのレンタルパレットでの納品が一番多かったので、一元管理した方が管理しやすいと考え、参加を決めました。決まった時間に空きパレットを返却できるので、パレットの整理を計画的に仕事に組み込むことができ、業務改善に役立っています」

JPRのレンタルパレットの管理は業務委託先企業が行っているが、空きパレットの返却が計画的に行われることで管理がさらに徹底されるようになったという。同社のJPRパレットの回収率は99%以上と高率を誇っている。

物流の効率化に向けた改善はまだまだやれることがあると言う小室氏。

最後に、「これまでも、JPRさんとはパレットのことに限らず、物流全般の改善について一緒に考えていただいていましたが、これからもお願いしたい。物流の分野でも、どんどん新しい技術が活用されています。そういった新しいシステムの情報なども積極的に教えてほしいですね。さらなる物流センターの効率化のヒントになりますから」とJPRへの要望を語ってくれた。

【注釈】

※JPR11型レンタルパレット共同利用・回収推進会（P研）：JPR11型レンタルパレットと共同回収システムによる加工食品業界の一貫パレチゼーションを推進している任意団体。1990年に発足。

Big-A Discount Foods

設立／1979年（昭和54年）8月20日
従業員数／3300名（正社員・パートナー・アルバイト含む）
店舗数／215店舗（2017年8月末現在）
事業内容／生鮮食品・加工食品を中心としたハードディスカウントチェーンストアの運営
本社所在地／東京都板橋区大山東町25-13 ビッグ・エー板橋大山店2F
URL／https://www.biga.co.jp/

JPRからのメッセージ

日本パレットレンタル株式会社
流通営業部 流通営業グループ流通第1チーム　チーム長
久本 想

ビッグ・エー様と弊社のお付き合いは、30数年におよぶ長い歴史があります。1995年に共同回収店にご参加いただいてから、いつも協力的で、弊社からの提案も積極的に聞いていただいています。私自身はビッグ・エー様の担当になって日が浅く、ご要望にどうお応えしていこうかと、非常にプレッシャーを感じています。これからも日々研鑽を重ね、ビッグ・エー様のご期待に応えられるよう、またこれまでの関係を一層発展させるように心がけて参ります。

雨の日には運転に要注意!!

台風や秋雨前線などの影響で、雨が多くなる季節です。
天気予報などで「強い雨」や「激しい雨」といった言葉を聞くことも多くなるでしょう。
雨の日の運転での注意点などをご紹介します。

「強い雨」ってどれくらい強い?

ひとことに「強い雨」といっても、実際にどれくらいの雨なのか、すぐには思いつかないものです。

気象庁では、雨の強さと降り方について、具体的な例をまとめています。

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	特になし
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘はまったく役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。			

(気象庁ホームページを元に作成)

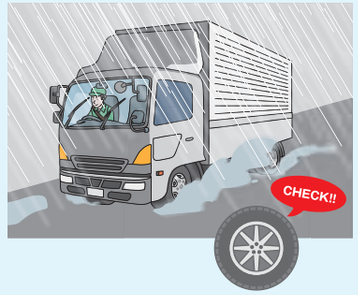
雨の日の高速は「ハイドロプレーニング現象」に要注意!

雨天時には、走行中の車輪と路面の間に水の膜ができて、ブレーキやハンドル操作が効かなくなる「ハイドロプレーニング現象」が起きる可能性があります。

「ハイドロプレーニング現象」が起こったら、タイヤのグリップが自然に回復するのを待つしかありません。ハンドルやペダル操作で立て直そうとするとかえって危険です。

「ハンドルを切らない」「ブレーキを踏まない」「シフトダウンしない」

を心がけましょう。
また、雨の日の運転時には、前もってタイヤの摩耗や空気圧などをチェックしておくのも大切です。



冠水道路では無理をせず、安全第一で。

アンダーパス(立体交差道路のひとつ)や、電車のガード下など、道路がすりばち状にへこんでいる場所では、集中豪雨などで水たまりが発生することがあります。

こうした場所にできる水たまりは、水深が浅そうに見えても、実際は深い可能性もあります。見た目では水深がわかりづらく、走り抜けようとすると水がマフラーから入り込み、エンジンを止めてしまう恐れがありますので、こうした場所では無理せず、迂回するのが安全です。

万一、車が冠水して車内にまで水が入ってきた場合はすぐに車を止め、エンジンを停止させましょう。車から降りて徒歩で避難する時は、足元の安全を確認しながら来た道を戻ります。車両は水が完全に引くまで放置し、必ずJAFや販売店などに連絡しましょう。

冠水した道路

1 まずは現状把握から、JPRが物流現場の改善をお手伝いします。

JPRでは、各種物流機器のレンタル・販売だけでなく、物流資産を管理するツールLogiarx(ロジアークス)や、容器の回収ネットワークと運用ノウハウを組み合わせて、お困りごとにあわせたサービスをご提案いたします。
物流現場の状況を調査・分析し診断するサービスもご用意しておりますので、課題の洗い出しにもJPRをご活用ください。
現状の把握から改善策の施策、運用代行まで、お客様の課題解決をお手伝いいたします。

2 JPRレンタルパレット回収強化中!

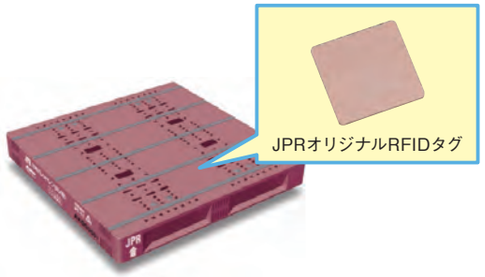
当社は、JPRレンタルパレットの無断での持ち出しや無断利用を防止することを目的として、右のような広告やポスターの掲載、チラシ配布などの手法で継続的に注意を呼びかけています。
万一、利用者の分からないJPRレンタルパレットを見かけましたら、お手数ですがご連絡いただけますよう、お願いいたします。

3 「PT-11型レンタルパレット」はRFIDタグ付きです!

JPRが提供するプラスチック製レンタルパレット「PT-11型レンタルパレット」には、RFIDタグが装着されています。

RFIDタグ付きレンタルパレットの活用例

- タグの情報を読み取ることにより個体管理が可能となり、運用改善に繋がる情報が取得できます。
- 自動で一括検品が可能となり、人的なミスが削減され、入出庫・荷役の効率化を促進します。
- 管理システムとの組み合わせで、パレットをキーにした積載商品の管理も可能になります。



各種調整が必要な場合があります。ご利用前に必ず弊社までお問い合わせください。

上記ニュースの詳細については、JPRにお問い合わせください。
お問い合わせ先:フリーコール **0120-8010-11** 受付時間 9:00～17:00(土日祝を除く)※携帯電話・PHSからもご利用できます。
service@jpr.co.jp